

地方創生の拠点として
～元気な大学、元気なこども園～

学校法人 藤田学院 マスタープラン

(2025. 4. 1～2030. 3. 31)

1. 経営理念

地域の発展に貢献する人材を育成する

2. めざすべきビジョン

学校法人藤田学院が経営地盤とする山陰地方は、若者の都会への流出、高齢化の進展、少子化の進行等により、人口減少が顕著である。こうした状況下、「地域と共に」常に活力に充ちた「元気な大学、元気なこども園」として、人材育成と地域への積極的な関りを通して、「地方創生の拠点」となることをめざしていく。

3. マスタープランの骨子

深刻な少子化時代に、「地域に貢献する人材の育成」を理念とする法人として、戦略的な広報及び募集活動を展開し、多数また多様な学生・園児を受け入れる。その核に、絶えざる教育改革、研究水準の向上、さらに地域貢献を推進し、真の教育力の充実をはかり、人材育成を行う。育んだ学生たちそれぞれに応じたキャリア支援を徹底して行う。

こうした取り組みを支えるために、教職員の能力向上、一層働きやすい環境づくり、施設・設備の絶えざる整備、充実、財政基盤の安定、そしてガバナンスの充実強化を図る。常に活力の充ちた元気な法人、元気な大学、元気なこども園であり続ける。

4. マスタープラン実現のための7つの戦略

I 戦略的広報及び募集活動の推進

II 教育力の向上と教育の深化

III 研究水準の向上と研究活動の活性化

IV 教職員の能力向上と働きやすい環境整備の推進

V グローバル化と地域連携の更なる推進

VI 専門人材の育成に向けたキャリア支援

VII 経営基盤の安定とガバナンスの強化

5. 7つの戦略を実行するための戦術

I 戦略的広報及び募集活動の推進

大学をめぐる社会環境が激変する中で、改めて地域における大学の存在価値を明確化する。県内高校との連携を強化し県内からの志願者を安定的に確保するとともに、県外や社会人などの新規開拓を図る。また、成績上位層を積極的に取り込む一方で、多様な背景をもつ志願者のニーズに対応した募集戦略を推進する。

こども園においても、幼児期の成長に望ましい環境にある園の魅力が保護者に伝わり、子どもの人生を長期的に捉える視点で選択肢となるよう広報戦略を推進する。

主な戦術

- ①大学のブランディング広報の強化
(こども園：ブランディング広報の強化)
- ②エリア戦術の強化
- ③対象者別戦術の強化
- ④入試区分別戦術の強化
- ⑤進学ニーズの掘起こし強化

II 教育力の向上と教育の深化

【鳥取看護大学】

地域との親密な関係構築のもとに、本学のディプロマポリシーである「5つ看護力」を培うべく、学生一人ひとりの人間的成長を図り、地域医療に貢献する専門職として「人に寄り添う」人間味豊かな人材を育成する。また教職協働による学生支援について研鑽を積み、多様なニーズに対応する教育力の向上と教育の深化を図る。

【鳥取短期大学】

学生が自らの人格を培い、よりよい社会の形成者となって地域に貢献できるよう、地域とのつながりを活かして教学マネジメントを進めるとともに、教職協働による学生支援について研鑽を積み、多様なニーズに対応しうる教育力の向上と教育の深化を図る。

【鳥取短期大学附属こども園】

起伏に富んだ遊びの環境や豊かな図書環境などを活かして子どもたちの好奇心やチャレンジ意欲を育むとともに、乳幼児期の発達に関する最新の知見に学び、日々の教育・保育に反映させる。

主な戦術

- ①教育の質向上（こども園：教育・保育の質向上）
- ②教学マネジメントの推進
- ③内部質保証の向上・充実
- ④地域志向教育の充実
- ⑤教職協働の推進

Ⅲ 研究水準の向上と研究活動の活性化

【鳥取看護大学】

研究水準の向上に努めるとともに、地域のニーズに応える共同研究や、学内外研究者との共同研究および外部資金獲得に向けた研究活動などを活性化させ、積極的にFD活動にも取り組む。また、研究活動を教育活動と連動させて教育の質向上に資する研究を推進する。

【鳥取短期大学】

個人の専門性を深める研究のほか、学科・専攻教育への反映をめざす研究、地域のニーズに応える学際的な研究などを、外部資金の獲得に努め学内外の研究者との共同研究にも積極的に取り組みながら、研究水準の向上と研究活動の活性化を図っていく。

【鳥取短期大学附属こども園】

鳥取看護大学・鳥取短期大学・こども園による教育・研究面での連携が、学生や園児、教職員にとっても学びや研究の質の向上につながるよう、藤田学院の組織的な取組として推進する。

主な戦術

- ①研究水準の向上
- ②研究活動の活性化
- ③外部資金獲得率・論文投稿数の向上
- ④地域共同研究の推進
- ⑤教育・研究のコラボレーション（こども園：学内間の連携強化）

Ⅳ 教職員の能力向上と働きやすい環境整備の推進

教職員の能力向上のため、教職員研修の充実及びDX推進によるワークスタイル改革を推進していく。また、働きやすい環境整備の推進のため、更なる事務の合理化・効率化を図り、同時に教育・研究に係る事務機能の円滑化を推進していく。

主な戦術

- ①事務の合理化・効率化
- ②教育・研究に係る事務機能円滑化
- ③働きやすい環境整備
- ④教職員研修の充実
- ⑤DX 推進によるワークスタイル改革

V グローバル化と地域連携の更なる推進

グローバル化と地域連携のさらなる推進のため、地域資源を活用した学習プログラムや研究活動を積極的に展開し、学生・教職員のグローバルマインドの醸成を図る。また、大学間及び地域との連携強化を目的に共同プロジェクトや交流の場を定期的に設けるとともに、地域イベントや活動への積極的な参加を促進する。さらに、地域活性化プログラムの推進を通じて、地域社会への貢献を強化し、卒業生ネットワークの充実により帰属意識の向上にも努める。

主な戦術

- ①グローバルマインド (Think Globally, Act Locally) の醸成
- ②地域交流・貢献の推進・強化
- ③地域貢献マイスターの育成・まちの保健室及びよろず相談室の推進
- ④大学間連携・地域連携の強化
- ⑤卒業生の帰属意識の向上

VI 専門人材の育成に向けたキャリア支援

【鳥取看護大学】

看護職としての意識を醸成するため、低学年次より学年別キャリアガイダンス及びキャリアアップ講座を計画的に開催する。専門人材育成強化、就職・進学支援強化においては、看護職育成委員会及びチュータとの連携・協働強化に努めるとともに、卒業生と在学生在が接点を持つ場を提供し、専門職としての知識を得る機会を提供する。

【鳥取短期大学】

各分野の専門教育と連携したキャリア教育プログラムの提供や、就職・進学までの一貫したサポート体制を整えるとともに、地域で活躍する卒業生・就職先企業と連携した就職支援を強化する。また、リスキリング・学び直しの講座、同窓会と連携し、学生のキャリアアップにつながる場の提供を進める。

主な戦術

- ①専門人材育成強化
- ②就職・進学支援強化
- ③同窓会と連携したキャリア教育
- ④キャリアアップ講座の開講

VII 経営基盤の安定とガバナンスの強化

経営基盤の安定のため、施設・設備の絶えざる整備、充実を図り、及び学科、専攻の枠組、名称、定員等の絶えざる検証と見直しを推進していく。また、収入の安定確保はもちろんの事、経費の抑制（時間外手当の削減等）を計画的に実践していく。ガバナンスの強化のため、内部統制の基本方針を定め、その向上・充実を図り、またFD/SD活動の深化にも努めていく。

主な戦術

- ①財務基盤の安定と経費抑制
- ②施設・設備の絶えざる整備、充実
- ③ガバナンスの強化
- ④内部統制の向上・充実
- ⑤学科、専攻の枠組、名称、定員等の絶えざる検証と見直し
- ⑥FD/SD活動の深化
- ⑦時間外手当の削減

6. 重点指標及び数値目標

◆重点指標

<重点的に取り組む指標>

・入学定員充足率	100%
・看護師国家試験合格率	100%
・経常収支差額比率(法人全体)	1.6%以上

◆数値目標

<キラリと光る教育力数値目標>

【鳥取看護大学】

- ・学生ボランティア参加回数 年間2回以上
- ・学生のシームレスケア実践回数 年間1回以上
- ・ICTコミュニケーション尺度による能力到達度 40%以上
- ・地域志向尺度による資質到達度 40%以上

【鳥取短期大学】

- ・学生の地域活動への参加回数 年間4回以上
- ・学生の地域活動への意欲向上 伸び率+20ポイント
- ・雇用主からの肯定的評価 60%以上
- ・地域貢献マイスター認定人数 年間130人以上(令和10年度以降)

<経営基盤の安定とガバンスの強化に関する数値目標>

- ・ふるさと納税活用補助金獲得
2025年度：20百万円、2026年度：30百万円
2027年度：40百万円、2028年度：50百万円